

かけはし

平成20年(2008年)
8月26日発行
新潟県教育委員会



新潟県教育委員長
伊藤 正一

県民の皆様へ ～教員採用に対する信頼の確保に向けて～

過去の新潟県教員採用選考検査における合否判定において、不正行為はなかったものの、教育庁職員が県議会議員等の依頼に応じて合否結果の連絡を行っていたことが確認されました。このことは、検査の公正・公平な実施について、県民の皆様にご心配を与えかねないものであり、職員の自戒を強く促したところであります。

今後は、検査情報の管理を徹底するとともに、教員採用の透明性、公平性を高めるため、採用検査のあり方の改善に全力で取り組んでまいります。

採用選考検査の合否連絡に関する 内部調査の結果について

調査の概要

- 調査対象年度**
平成16～20年度の5か年度
- 調査対象者(62人)**
教育庁本庁の管理職、人事担当係長
- 調査内容**
(1) 依頼の有無、依頼者、依頼件数等
(2) 依頼の内容、依頼の処理
(3) 謝礼等の有無

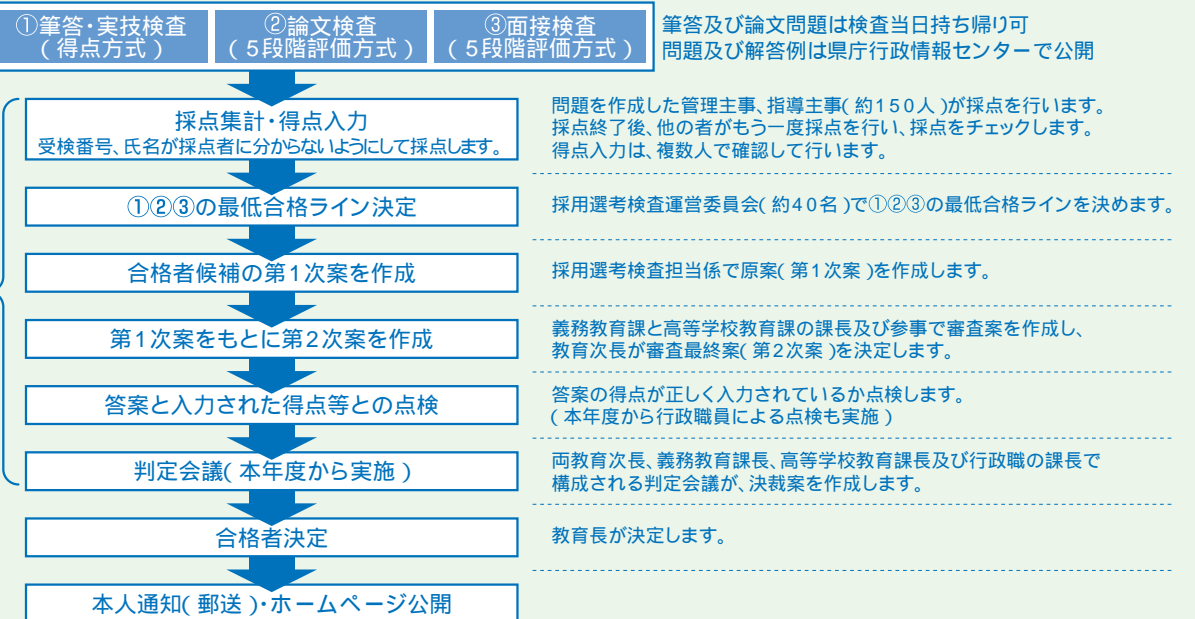
調査結果

- 依頼を受けた職員の範囲及び件数**
(1) 教育長、次長、課長、課長補佐、職員係長(計19人)
(2) 依頼者数、依頼件数
16～19年度:毎年度20～30人、40件程度
5年間合計:101～128人、160～180件
(注)記録がなく、記憶に頼るため、数値に幅があります。
- 依頼者の範囲**
県議会議員(含むOB)が大半、他は国会議員等
- 依頼の内容**
「合否の連絡をもらいたい」がほとんどで、抽象的な「よろしく願います」もありました。
- 依頼の処理**
合否通知発送後に合否結果を確認し、電話にて連絡しました。なお、平成20年度は依頼に応じていません。
- 謝礼等の有無**
金品等の授受は皆無でした。

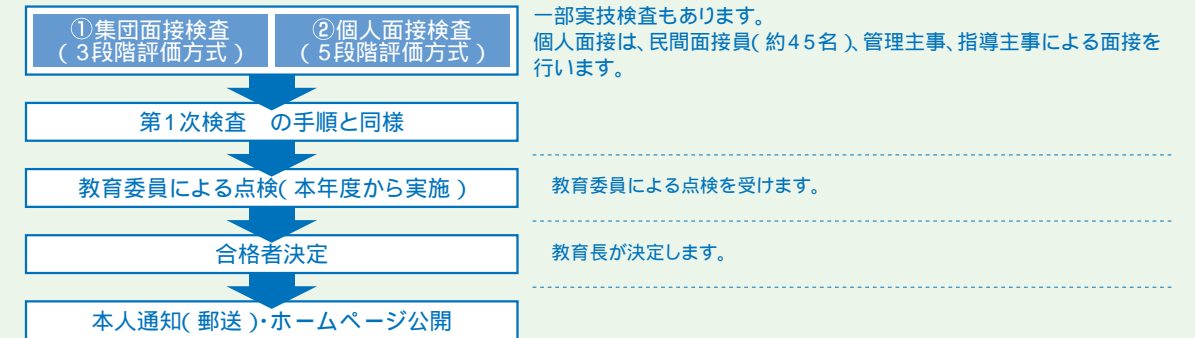
採用検査の不正は認められませんでした。

一県教員採用選考検査の流れ

第1次検査



第2次検査



今後の対応について

県教員採用選考検査について、透明性を高め、公正で厳正な選考を行うために、次のとおり改善を行うこととしました。

1 本年度から行う改善事項

- 採用担当課以外の職員が、成績一覧表と答案類との突合チェックを行いました。
- 採用事務に携わっていない職員を含めて判定会議を行い、合否判定の最終案を作成します。
- 最終案について、教育委員の点検を受けることとします。
- 答案類をはじめ、選考に関係するすべての書類の保存年限を定めることとします。

2 来年度に向けた改善の方策

- 1次検査・2次検査の構成(検査項目等)を再検討します。
- 各検査の配点等を含めた選考基準の公表を検討します。
- 不合格者への検査結果の開示範囲を拡大する方向で検討します。